

■ 白石区役所など4つの公共施設を「南郷通1丁目南」用地へ移転します。

- 施設の老朽化、公共交通アクセスなど現在の課題への対応をはじめとして、市民の安全性や利便性をより高めていくため、白石区役所を地下鉄白石駅に隣接する「南郷通1丁目南」用地に移転します。
- 生活に深く関連する3つの施設も併せて移転し、複合庁舎として整備していきます。

《移転予定の公共施設》

- 白石区役所
 - 白石区民センター
 - 白石保健センター
 - 白石区保育・子育て支援センター
- ※駐輪場、来庁舎用駐車場も併せて整備します。



～『南郷通1丁目南』用地について～ (約8,250㎡)

- ・区役所を含めた将来の公共施設用地として、札幌市が平成15年に取得しました。
- ・現在は、パークアンドライド駐車場及び駐輪場等として暫定利用しています。

■ 地域の拠点として整備していきます。

計画地を含む地下鉄白石駅周辺は、札幌市の都市づくりの方針で、行政や商業など都市サービス機能が集まる「地域の日常生活を支える拠点」の一つとして位置付けられています。

■ 計画地を有効活用します。

複合庁舎の整備にあたっては、質の高い行政サービスが提供できるように、必要な敷地規模を確保しながら、利便性を損なわない範囲で高層化するなど土地を有効活用していきます。

■ 地域に貢献できる民間機能の導入を目指します。

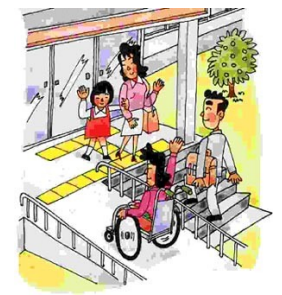
区役所など公共機能に加えて、地域の賑わい創出や利便性の向上など、地域への貢献が期待できるような民間機能の導入を目指していきます。

※民間施設は、複合庁舎と別棟になることを想定しています。

整備の主な視点

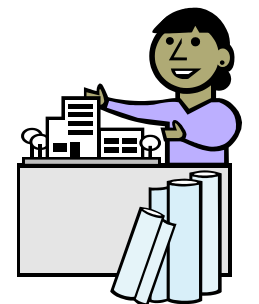
区民に開かれ、利用しやすい庁舎施設

- バリアフリー化はもとより、利用する様々な方々に対応したユニバーサルデザインを導入します。
- 窓口の配置や案内表示、ゆとりのある待合スペースなど、利用しやすい工夫をします。



長い間使えるような庁舎施設

- 長期の利用に耐えられる施設にします。
- 将来的な使い方の変化にも対応できるような施設にします。
- 効率的な維持管理や設備更新ができるように設計段階から考えていきます。



防災拠点としての庁舎施設

- 地震にも強い建物、設備にします。
- 総合的なセキュリティ機能を取り入れて情報管理を強化します。



環境に配慮した庁舎施設

- 環境に配慮した設備を率先導入して「環境首都・札幌」を象徴した施設にします。



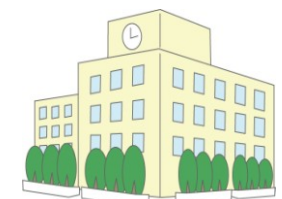
公共交通との効果的な接続

- 地下鉄やバスターミナルとの利用しやすい接続を考えていきます。



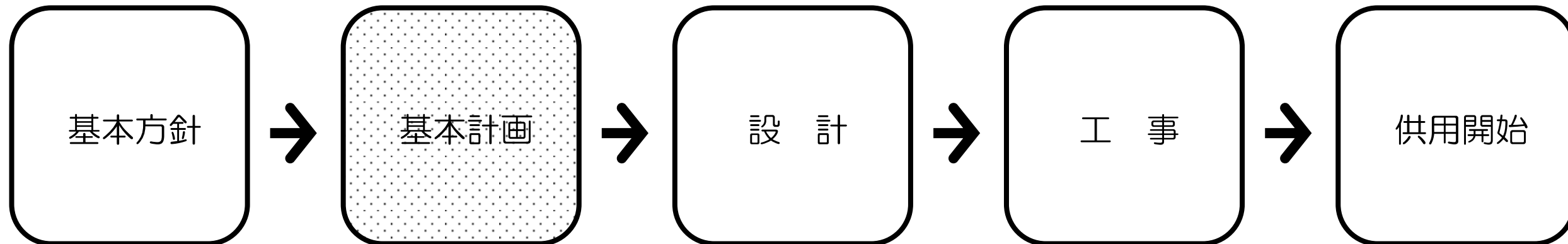
地域に開かれた空間

- 建物の配置や緑化を工夫して、周辺の街並みとの調和やうるおいを創りだします。



白石区複合庁舎整備の進め方

今回はココ



- 新しく建て替えよう。
- 場所はここにしよう。
- 基本的な方針を決めよう。

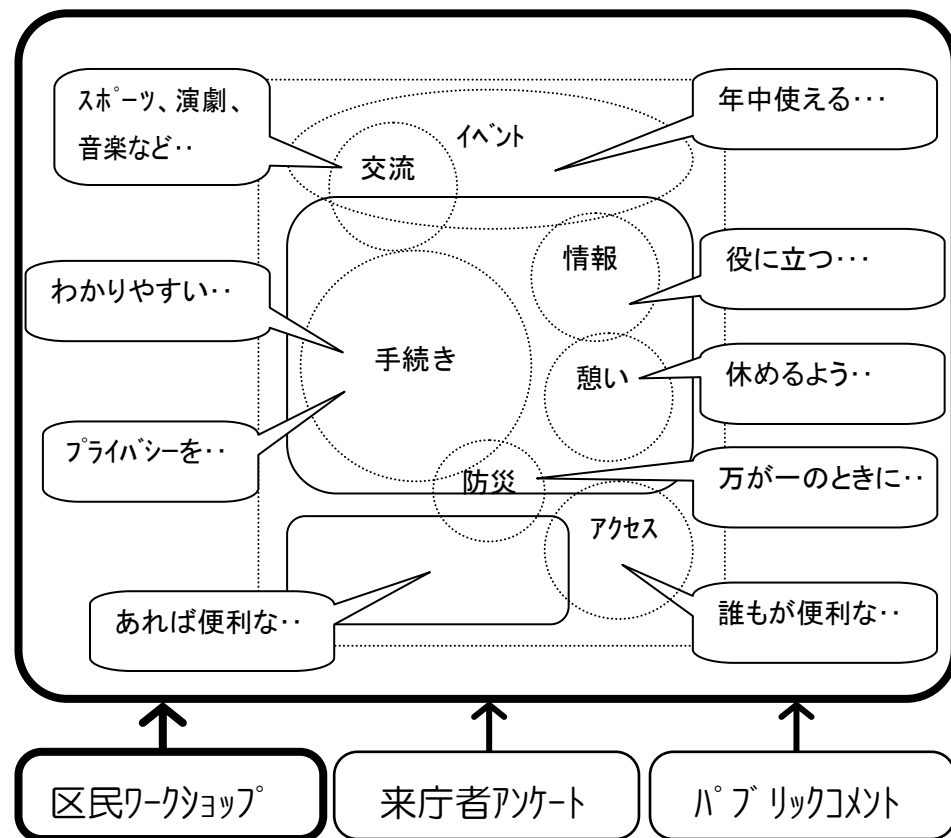
- 建物づくりの目標や理念、建物のおおまかな構成を決めよう。
- あるとよい民間機能を考えよう。

- 建物や部屋のデザインを決めよう。
- 工事するための図面をつくろう。
- 施設の細かな仕様を決めよう。

- 図面を見ながら建物をつくろう。

- 施設を大切に使おう。
- みんなで利用しよう。
- 省エネに取り組もう。
- みんなできれいにしよう。

基本計画



設計

